

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第10週の発生動向

トピックス

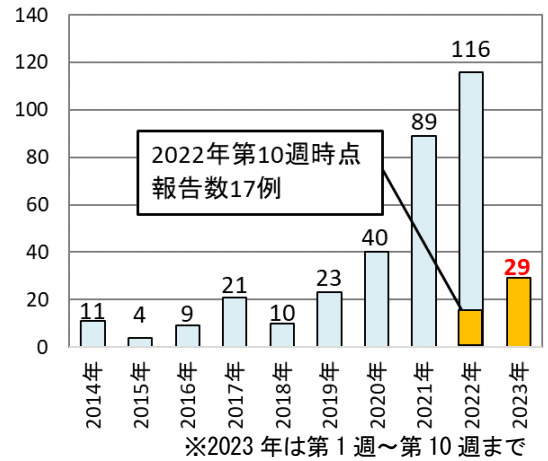
・第10週の**梅毒**(全数報告の感染症)の報告が10例と多くなっている。診断週による累積報告数は29例と、1999年以降最も多くなった前年(116例)の第10週時点(17例)を超える報告数となっており、今後の増加が懸念される。

性別は男性が17例、女性が12例で、年齢群別では、30歳代が全体の約4割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、21例となっている。

【梅毒】2023年(第1週~第10週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
4	10	11	1	2	1

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が605例あり、先週(716例)の約0.8倍であった。2023年の累積報告数は54,648例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症 (10週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：急性脳炎1例、梅毒10例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
5類	急性脳炎	宮崎市	5~9歳	男	インフルエンザウイルスA	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加、活気不良、発語低下
	梅毒	宮崎市	10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹
			10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			都城	30歳代	男	無症状病原体保有者
50歳代	男	無症状病原体保有者		なし		

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は990人(定点当たり22.7)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

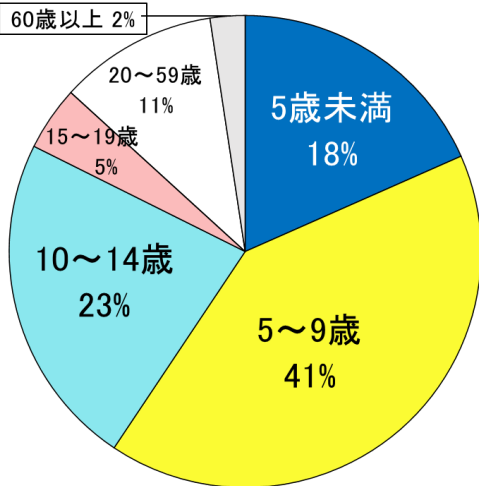
報告数は544人(9.4)で、前週比106%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.7)の約2.5倍であった。日向(16.8)、延岡(15.7)、高鍋(11.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

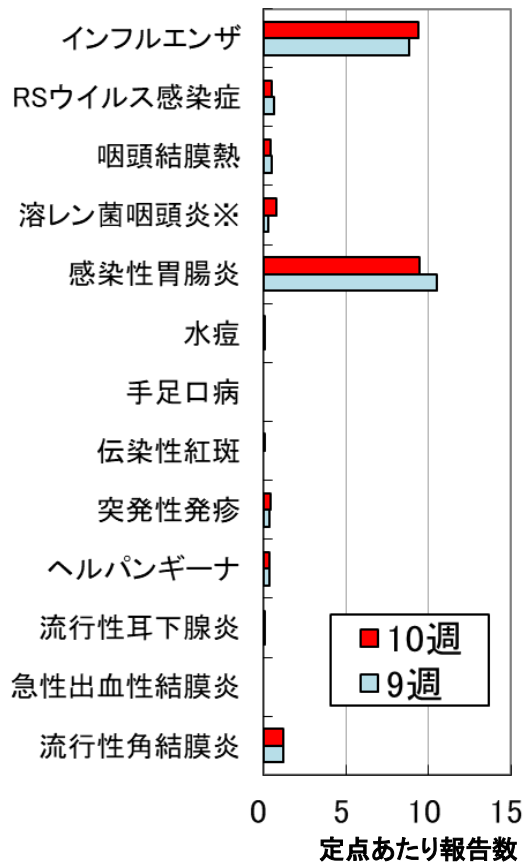
報告数は341人(9.5)で、前週比90%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(8.5)の約1.1倍であった。小林(18.3)、宮崎市(11.0)、都城(10.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

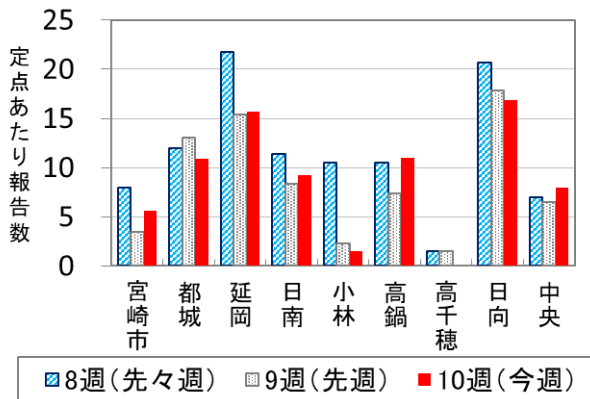
インフルエンザ年齢群別グラフ(第10週)



《前週との比較》

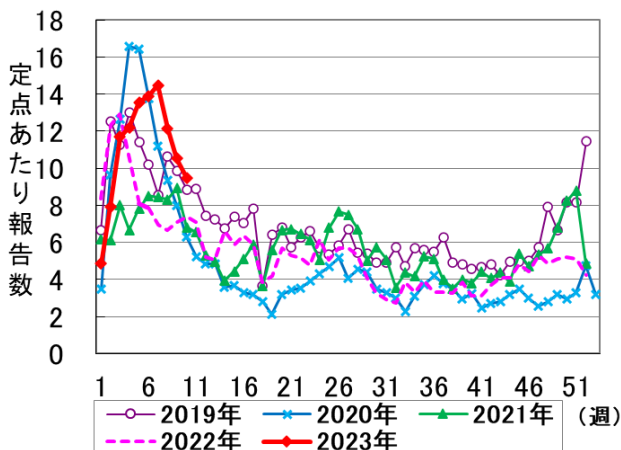


インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

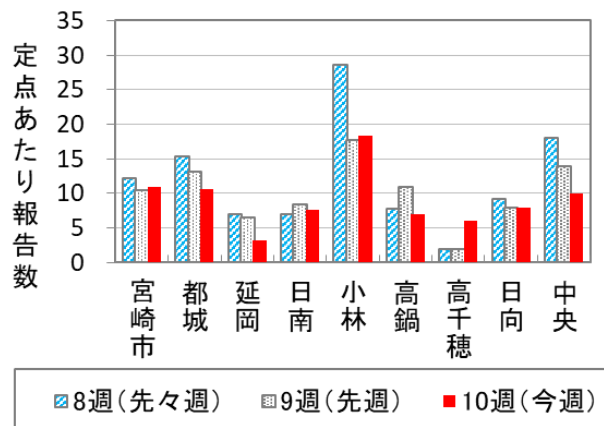


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(10.9)
延岡	インフルエンザ(15.7)
日南	なし
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(11.0)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(16.8)
中央	なし

※流行注意報レベル基準値*
・インフルエンザ(10)

全国 2023 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	242 例			
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症 20 例
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	1 例	サル痘 4 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	2 例	レジオネラ症 17 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 24 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘(入院例) 3 例
	梅毒	186 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風 1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	9 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 93%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 50,235 人(10.2)で前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約 1.8 倍であった。石川県(33.8)、岩手県(33.4)、富山県(26.3)からの報告が多く、年齢群別では 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 18,753 人(6.0)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 1.4 倍であった。愛媛県(13.8)、大分県(11.7)、富山県(11.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年2月>

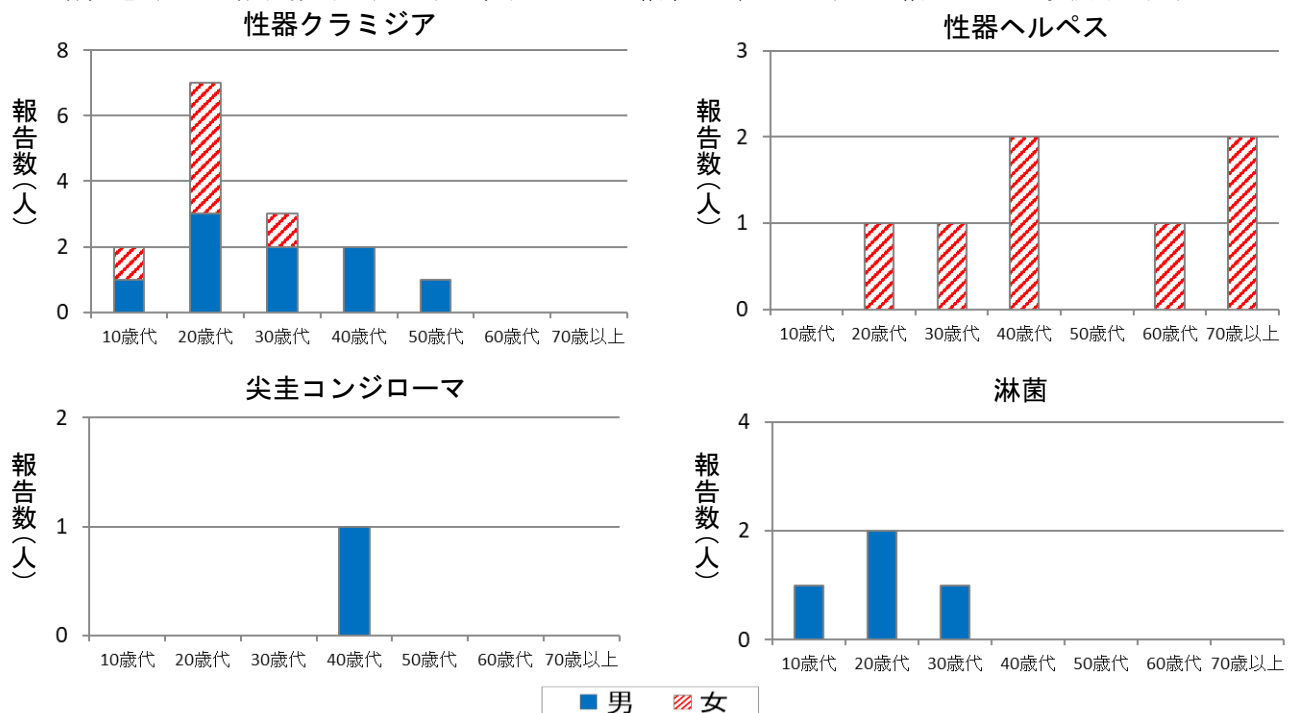
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は27人(2.1)で、前月比113%と増加した。また、昨年2月(3.6)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月と同率、昨年2月の約0.7倍であった。
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性9人・女性6人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約2.3倍、昨年2月の約0.8倍であった。(女性7人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年2月の0.5倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.8倍、昨年2月の約0.3倍であった。(男性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,267人(4.3)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,380人(2.4)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症670人(0.68)で前月比96%、尖圭コンジローマ526人(0.54)で前月比106%、淋菌感染症691人(0.70)で前月比81%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。また、昨年2月(3.4)と同率であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月と同程度、昨年2月と同率であった。いずれも70歳以上であった。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,289人(2.7)で、前月比84%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,209人(2.5)で前月比83%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症70人(0.15)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症10人(0.02)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第10週(03月06日～03月12日)

疾病名		第09週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	511	544	90	109	110	46	6	66		101	16
	定点当り	8.81	9.38	5.63	10.90	15.71	9.20	1.50	11.00	0.00	16.83	8.00
RSウイルス 感染症	報告数	22	19	2		1	3		4		3	6
	定点当り	0.61	0.53	0.20	0.00	0.25	1.00	0.00	1.00	0.00	0.75	6.00
咽頭結膜熱	報告数	17	15	6	1	2			6			
	定点当り	0.47	0.42	0.60	0.17	0.50	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	11	27	5	5	2	4		1		7	3
	定点当り	0.31	0.75	0.50	0.83	0.50	1.33	0.00	0.25	0.00	1.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	379	341	110	64	13	23	55	28	6	32	10
	定点当り	10.53	9.47	11.00	10.67	3.25	7.67	18.33	7.00	6.00	8.00	10.00
水痘	報告数	3	4	2		1		1				
	定点当り	0.08	0.11	0.20	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	16	7	1		2	3	2	1		
	定点当り	0.36	0.44	0.70	0.17	0.00	0.67	1.00	0.50	1.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	14	3		11						
	定点当り	0.39	0.39	0.30	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	7	5	2							
	定点当り	1.17	1.17	1.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～10週)

2類感染症	結核	20例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	8例
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	急性弛緩性麻痺	1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	梅毒	33例(10)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	54648例(605)	レジオネラ症	1例
			急性脳炎	1例(1)
			後天性免疫不全症候群	1例
			百日咳	2例

()内は今週届出分、再掲